

令和4年上半期

火災と救急・救助の概要



三木市消防本部

令和4年上半期火災と救急・救助の概要

この統計は、令和4年1月1日から令和4年6月30日までの上半期に三木市で発生した火災・救急・救助を集計したものです。

[目 次]

火 災 概 要

1	火災種別件数（対前年比）	1
2	火災概要（対前年比）	2
3	署別火災件数	3
4	地区別火災件数	3
5	月別火災件数	3
6	曜日別火災件数	4
7	時間別火災件数	4
8	覚知別火災件数	4
9	原因別火災件数	5
10	初期消火の状況	5
11	死者の状況	6
12	消防部隊出動状況	6
13	高速道路別出動状況	6

救 急 概 要

1	救急出場件数	7
2	事故種別救急活動状況	8
3	地区別救急出場件数	8
4	曜日別救急出場件数	9
5	月別救急出場件数	9
6	時間別救急出場件数	9
7	傷病程度別搬送人員	10
8	年齢別搬送人員	10
9	性別・科目別搬送人員	10
10	応急処置件数	11

救 助 概 要

1	救助出動状況	12
2	発生場所別出動件数	12
3	事故種別地区別活動状況	13

令和4年上半期の火災概要

本年上半期（1月～6月）に発生した火災件数は35件で、前年と比べ20件増加しました。

火災種別では、建物火災が10件増加して18件（51.4%）、林野火災は4件増加して7件（20.0%）、車両火災は3件増加して4件（11.4%）、その他火災は3件増加して6件（17.2%）となっています。

建物焼損棟数は43棟で、全焼24棟、半焼0棟、部分焼11棟、ぼや8棟、り災世帯は15世帯、り災人員は27人です。

建物焼損面積は3,058㎡（前年204㎡）で増加しました。

火災損害額は61,634千円（前年16,262千円）で増加しています。

1 火災種別件数（対前年比）

発生年		令和4年	令和3年	比較
出火件数		35件	15件	20件
火 災 種 別	建 物	18	8	10
	林 野	7	3	4
	車 両	4	1	3
	船 舶	0	0	0
	その他	6	3	3

（△印は減少）

2 火災概要（対前年比）

出火件数は、前年に比べると20件増加しています。

区 分	単 位	令和4年	令和3年	比 較
出 火 件 数	件	35	15	20
建 物	〃	18	8	10
住 宅	〃	10	5	5
工 場	〃	3	0	3
そ の 他	〃	5	3	2
林 野	〃	7	3	4
車 両	〃	4	1	3
船 舶	〃	0	0	0
そ の 他	〃	6	3	3
損 害 額	千円	61,634	16,262	45,372
建 物	〃	52,496	15,896	36,600
建 物	〃	32,685	14,161	18,524
収 容 物	〃	19,811	1,735	18,076
林 野	〃	0	0	0
車 両	〃	6,330	1	6,329
船 舶	〃	50	0	50
そ の 他	〃	2,758	365	2,393
爆 発	〃	0	0	0
建 物 焼 損 棟 数	棟	43	12	31
全 焼	〃	24	2	22
半 焼	〃	0	1	△ 1
部 分 焼	〃	11	4	7
ぼ や	〃	8	5	3
爆 損	棟	0	0	0
車 両 等 数	台	0	0	0
焼 損	m ²	3,058	204	2,854
建 物 表 面 積	〃	122	211	△ 89
林 野	a	60	831	△ 771
車 両	台	21	1	20
船 舶	台	1	0	1
負 傷 者	人	6	1	5
死 者	〃	4	2	2
り 災 世 帯	世帯	15	9	6
全 損	〃	6	1	5
半 損	〃	0	1	△ 1
小 損	〃	9	7	2
り 災 人 員	人	27	18	9
建 物 1 件 当 た り の 損 害 額	千円	2,916	1,987	929
〃 焼 損 床 面 積	m ²	170	26	144

※損害額については、調査中5件を除く。

(△印は減少)

3 署別火災件数

前年同期比で、本署管内は16件増加、広野管内は3件増加、吉川分署管内は1件増加しています。

種 別		建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	合計
署 別	年						
本 署	4年	12	4	2	0	3	21
	3年	3	1	1	0	0	5
広野分署	4年	4	1	0	0	2	7
	3年	3	0	0	0	1	4
吉川分署	4年	2	2	2	0	1	7
	3年	2	2	0	0	2	6
合 計	4年	18	7	4	0	6	35
	3年	8	3	1	0	3	15

4 地区別火災件数

三木、別所、志染、細川、自由が丘、吉川地区で増加しています。

地区	三木	三木南	別所	志染	細川	口吉川	緑が丘	自由が丘	青山	吉川	合計
4年	9	0	5	7	2	0	1	4	0	7	35
3年	2	0	1	3	1	0	1	2	0	5	15

5 月別火災件数

4月が10件と最も多く発生しています。

月	1	2	3	4	5	6	合計
4年	8	6	2	10	4	5	35
3年	4	3	4	1	3	0	15

6 曜日別火災件数

火曜日が8件と最も多く発生しています。

曜日	日	月	火	水	木	金	土	不明	合計
4年	5	3	8	5	4	5	5	0	35
3年	4	1	0	2	4	3	1	0	15

7 時間別火災件数

13時、14時台が4件と最も多く発生しています。

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
4年	1	0	0	1	2	1	0	1	3	1	3	0
3年	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明	合計
1	4	4	1	2	2	2	1	0	1	1	3	0	35
0	2	5	1	0	0	1	0	0	0	0	3	0	15

8 覚知別火災件数

携帯電話の通報が16件と最も多くなっています。

種別	119 (固定)	119 (携帯)	加入 電話	警察 電話	駆け つけ	事後 聞知	その他	合計
4年	7	16	4	0	0	5	3	35
3年	1	10	1	0	0	3	0	15

9 原因別火災件数

たき火が8件で、前年と同様出火原因のトップです。

原因別	4年	3年	原因別	4年	3年
たばこ	1	1	配線器具	0	3
こんろ	2	0	火あそび	0	0
かまど	0	0	マッチ・ライター	1	0
風呂かまど	0	0	たき火	8	6
炉	0	0	溶接機・切断機	0	0
焼却炉	0	0	灯火	0	0
ストーブ	1	0	衝突の火花	1	0
こたつ	0	0	取灰	0	0
ボイラー	0	0	火入れ	0	0
煙突・煙道	0	0	放火	0	1
排気管	0	0	放火の疑い	1	0
電気機器・装置	3	0	その他	2	0
電灯・電話配線	3	1	不明	11	2
内燃機関	0	1	調査中	1	0
			合計	35	15

たき火欄内訳	4年	3年
たき火	6	2
虫焼火	2	4
合計	8	6

10 初期消火の状況

住民等による初期消火が行われたのは、35件中17件です。

区分	初期消火の状況							初期消火なし	合計
	消防用設備	消火器	水道・浴槽・汲み置きの水	寝具・衣類等をか	もみ消した	その他	小計		
4年	0	5	3	1	1	7	17	18	35
3年	0	0	4	1	1	0	6	9	15

11 死者の状況

1月の建物火災で2名、2月の建物火災で1名、6月の建物火災で1名
合計4名の死者が発生しています。

12 消防部隊出動状況

種別 \ 署別	本署	広野分署	吉川分署	合計
部隊	53	35	41	129
偵察	18	6	11	35
警戒	34	29	29	92
応援	1	0	1	2
風水害	0	0	0	0

(救助は除く)

- ※「偵察」 偵察・煙火・自動火災報知設備・誤報・捜索・異臭の調査 等
 「警戒」 救急支援・油処理・ガス漏洩・その他（へり誘導）の活動 等
 「応援」 近隣応援(境界、管轄高速道等)・緊急消防援助隊の出動 等

13 高速道路別出動状況

道別 \ 種別	火災	救急	救助	偵察	警戒	応援	風水害	合計
中国道	2	3	0	0	1	0	0	6
舞鶴若狭道	0	0	0	0	1	0	0	1
山陽道	1	11	1	0	2	0	0	15
合計	3	14	1	0	4	0	0	22

令和4年上半期の救急概要

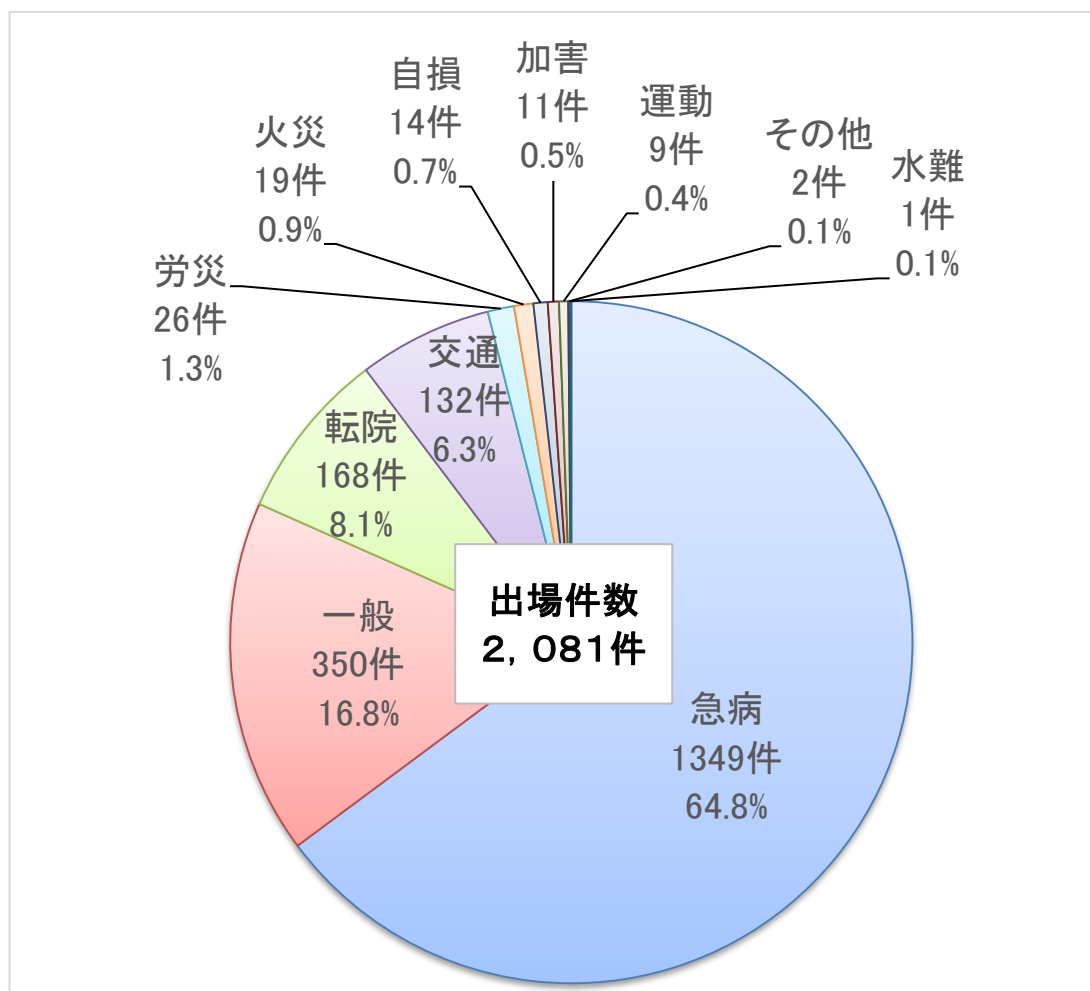
令和4年上半期（1月～6月）の救急出場件数は2,081件で、前年の1,774件に比べ307件増加しています。

搬送人員は1,901人で、昨年の1,640人に比べ261人の増加となっています。

事故種別出場件数は、急病が1,349件（64.8%）で最も多く、一般負傷350件（16.8%）、転院搬送168件（8.1%）、交通事故132件（6.3%）の順となっています。

事故種別による件数を昨年と比較すると、急病225件、一般負傷56件、転院搬送9件の増加となっています。

1 救急出場件数



2 事故種別救急活動状況

		救急出場件数			搬送人員			
		4年	3年	比較	4年	3年	比較	
事故種別	火災	19	6	13	7	0	7	
	自然災害	0	0	0	0	0	0	
	水難	1	1	0	1	1	0	
	交通	132	127	5	125	131	△ 6	
	労働災害	26	32	△ 6	24	31	△ 7	
	運動競技	9	15	△ 6	9	15	△ 6	
	一般負傷	350	294	56	328	272	56	
	加害	11	3	8	9	3	6	
	自損行為	14	12	2	12	9	3	
	急病	1,349	1,124	225	1,219	1,019	200	
	その他	転院搬送	168	159	9	167	159	8
		医師搬送	0	0	0	0	0	0
		資器材輸送	0	0	0	0	0	0
		その他	2	1	1	0	0	0
合計		2,081	1,774	307	1,901	1,640	261	
不搬送		193	148	45				
管外搬送					1,437	1,240	197	

※管外搬送人員には、北播磨総合医療センターを含みます。(△印は減少)

3 地区別救急出場件数

地区	三木	三木南	別所	志染	細川	口吉川
4年	603	190	184	153	72	37
3年	506	181	182	147	63	40

緑が丘	自由が丘	青山	吉川	その他	合計
237	312	71	206	16	2,081
183	229	86	144	13	1,774

4 曜日別救急出場件数

木曜日が最も多く、最も少ないのは金曜日となっています。

曜日	日	月	火	水	木	金	土	合計
4年	294	302	292	307	309	274	303	2,081
3年	235	279	240	271	238	267	244	1,774

5 月別救急出場件数

3月が最も多く、最も少ないのは2月です。

1ヶ月平均347件、1日平均では11.5件出場しています。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
4年	359	305	388	319	374	336	2,081
3年	356	257	295	285	287	294	1,774

6 時間別救急出場件数

9時台の167件が最も多く、次に10時台の166件で、最も少ないのは1時台の23件で、次に0時台、2時台の24件です。

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
4年	24	23	24	34	31	36	64	76	102	167	166	142
3年	31	28	22	23	17	32	54	69	100	115	130	121

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合計
142	135	121	125	113	104	115	98	75	72	44	48	2,081
105	112	102	110	96	102	77	69	71	67	58	63	1,774

7 傷病程度別搬送人員

傷病程度別では、軽症が50.8%を占めています。

単位：人

程度	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
4年	26	51	858	966	0	1,901
3年	27	48	828	737	0	1,640

8 年齢別搬送人員

高齢者（65歳以上）が最も多く、搬送人員の68.2%を占めています。

単位：人

年齢	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
	(生後28日未満)	(28日～6歳)	(7歳～17歳)	(18歳～64歳)	(65歳以上)	
4年	1	47	53	504	1,296	1,901
3年	0	58	58	418	1,106	1,640

9 性別・科目別搬送人員

昨年と比べると男性が134人、女性が127人の増加となっています。
科目別では、内科1,023人、脳神経外科325人、整形外科306人の順となっています。

単位：人

科目	外科		整形外科		脳神経外科		内科		小児科		精神神経科	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4年	74	43	148	158	199	126	542	481	29	15	2	5
3年	55	34	157	160	168	112	493	374	24	20	1	4

産婦人科	眼科		耳鼻咽喉科		泌尿器科		その他		合計	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
6	16	3	9	5	27	8	4	1	1,050	851
9	0	2	7	3	11	3	0	3	916	724

10 応急処置件数

全搬送人員1,901人に対して、傷病者観察と応急処置が施されています。

	急病	交通事故	一般負傷	左記以外	合計
応急処置対象人員(人)	1,219	125	328	229	1,901
止血	7	4	25	9	45
固定	5	42	28	10	85
人工呼吸	1	0	0	0	1
胸骨圧迫	0	0	0	0	0
心肺蘇生	38	2	1	6	47
酸素吸入	224	9	11	59	303
気道確保	68	6	5	9	88
経口エアウェイ	2	0	0	1	3
喉頭鏡・鉗子	0	0	0	1	1
※ラリゲアルマスク等	21	2	0	3	26
※気管挿管	5	0	1	0	6
以外	40	4	4	4	52
保温	20	2	4	7	33
被覆	6	16	69	17	108
在宅療法継続	19	0	2	0	21
冷却	17	0	4	1	22
除細動	4	0	0	0	4
血圧測定	1,173	122	322	221	1,838
心音・呼吸音聴取	130	22	22	19	193
血中酸素飽和度測定	1,189	121	326	222	1,858
心電図測定	820	44	115	130	1,109
※静脈路確保	28	3	2	2	35
心肺機能停止前	5	1	1	0	7
心肺機能停止後	23	2	1	2	28
※薬剤投与	19	2	1	1	23
※血糖測定	7	0	0	0	7
※ブドウ糖投与	3	0	0	0	3
その他	1,183	121	325	223	1,852
合計	4,961	516	1,262	936	7,675

※印は、救急救命士の特定行為等

令和4年上半期の救助概要

令和4年上半期における救助出動件数は41件で、前年と比べ5件少なくなっています。

1 救助出動状況

事故種別		火災	交通	水難	風水害	機械等	建物等	ガス等	破裂	その他	合計
出動件数 (件)	4年	8	10	1			20			2	41
	3年	2	14	1		3	23			3	46
活動件数 (件)	4年	8	4	1			12			2	27
	3年	2	9	1		1	16			3	32
救助人員 (人)	4年	4	4	1			7			3	19
	3年		10	1		1	6			3	21
出動台数 (台)	4年	24	41	3			49			7	124
	3年	5	57	4		11	56			9	142
出動人員 (人)	4年	98	116	10			139			23	386
	3年	14	168	11		34	164			22	413

2 発生場所別出動件数

事故種別		火災	交通	水難	風水害	機械等	建物等	ガス等	破裂	その他	合計
屋内	住居	5					19				24
	その他の屋内	3					1				4
屋外	高速道路		1								1
	その他の道路		8								8
	その他の屋外		1							1	2
	内水面			1							1
	外水面										0
	山岳									1	1
その他											0
合計		8	10	1	0	0	20	0	0	2	41

3 事故種別地区別出動状況

事故種別では、建物等による事故が20件で全体の48.8%を占めています。地区別では、三木地区が12件と最も多くなっています。

地区別	事故種別	火災	交通	水難	風水害	機械等	建物等	ガス等	破裂	その他	合計
三木		4	3				5				12
三木南			1				2				3
別所		1	1	1							3
志染		1	2				1			1	5
細川										1	1
口吉川											0
緑が丘		1					3				4
自由が丘		1					6				7
青山							1				1
吉川			2				2				4
高速道路			1								1
管外											0
合計		8	10	1	0	0	20	0	0	2	41